

家庭教育師養成基礎講座	受講形態：来校・ライブ配信	講師：本学専任教員
	受講料：各 1,000 円（消費税込）	
	*単位認定を希望する場合は4講座 8,000 円（消費税込）	
	講義時間・回数：各 90 分 1 回	

// 講座番号・日程・内容

1171	11月12日 (土)	13:00- 14:30	江戸時代の子育てと教育 多様な価値観の混在、生活環境の複雑化、無限競争時代、我が子に何を、どう教えるべきか、親たちの迷いと悩みは尽きることがありません。本講座では江戸時代の先人達の子育ての知恵を紹介しながら、現代における子育てと子供教育のあり方を考えたいと思います。
1172		14:40- 16:10	女性像と男性像、そして夫婦の役割 陰(-)・陽(+)という矛盾する二つの性質の衝突、これこそが世界の生成・運動の基本原理をなすもので、人類においては男女、家庭においては夫婦関係がそれを象徴しています。本講座ではその複雑微妙な関係・役割の本質に迫ってみたいと思います。
嚴 錫仁 八洲学園大学准教授。韓国生まれ。高麗大学哲学科卒業。韓国精神文化研究院・韓国学大学院修了。筑波大学大学院博士課程哲学・思想学研究科修了。博士（文学）。成均館大学研究教授等を経て現職。			
1173	11月19日 (土)	13:00- 14:30	ネット社会と家庭教育 ネット社会の到来は我々の意識に大きな変化をもたらしている。家庭教育の現場でどのような対応が必要なのか。ネット悪玉論や万能論を超えて、ネット社会における親の取るべき態度や情報リテラシーについて考える。
1174		14:40- 16:10	日本の民俗伝統からみる子育ての今昔 現在子育ては乳幼児期から母親がつきっきりで行うことの重要性が強調されがちですが、子育て民俗誌などをみると、子育ての方法は現代と大きく異なっています。子育ての今昔を比較し現代の問題について考えます。
平良 直 八洲学園大学准教授。筑波大学哲学・思想研究科修了。専門は宗教学。日本宗教学会会員。八洲学園大学で宗教学関連科目担当。主な著書：『宗教学入門』（共著 ミネルヴァ書房 2005年）、『世界の民衆宗教』（共著ミネルヴァ書房 2004年）、『よくわかる宗教社会学』（共著 ミネルヴァ書房 2007年）など。			
1175	11月5日 (土)	13:00- 14:30	発達障害の気づきと家庭での早期教育 自閉傾向や注意障害等の発達障害は、「気づき」が遅れて5歳児健診や就学時健診まで見逃されることも多い。その一方でその特徴ある行動や社会性への適切な対応が遅れると、就学後の指導が困難になる。そこで、保護者の「気づき」や「しつけ」力を高める観点を紹介する。
1176		14:40- 16:10	引きこもりとその支援 不登校は全中学生の3%にまで達し、その多くが引きこもりに移行する。どのような原因でなったにせよ、引きこもり児童生徒に広く見られる心理的・生理的特徴がある。そこで、引きこもり児への医学・心理学的な支援についてみなさんと考えてゆく。
鈴木啓之 八洲学園大学准教授。名古屋大学医学研究科、博士（医学）。生理学研究所、ハンブルグ大学生理学研究所、茨城大学情報処理センター、茨城県教育情報ネットワーク管理センターを経て現職。			
1177	11月26日 (土)	13:00- 14:30	子どものやる気を引き出す心の教育 うちの子は言えばするけど、自分からはなかなかしない！やる気はどうしたら出るの？という声を聞きます。その解決は、幼少期からの子どもへのかかわり方にあります。それを具体的に解説します。
1178	12月3日 (土)	10:40- 12:10	子どもが体験することの意味 近年、子どもの体験の機会が減り、体験不足による問題点が指摘されています。でも、気をつけてみると、体験の機会は身近なところにあります。それらを取り上げ、子どもが体験することの意味について解説します。
渡邊 達生 八洲学園大学教授。昭和25年、大分県に生まれる。宮崎大学教育学部卒業。大分県公立小学校教諭、筑波大学附属小学校教諭、筑波大学講師を経て、平成16年より現職。道徳教育、及び、子どもの心の教育について実践研究を続ける。子どもや親が家庭での生活を豊かにつづる「家族生き生きエッセー」（インターネット検索で見ることができます。）を主催。文部科学省「心のノート」編集協力者委員。最近の著書『昔話と52のキーワードで学ぶ道徳の心』			